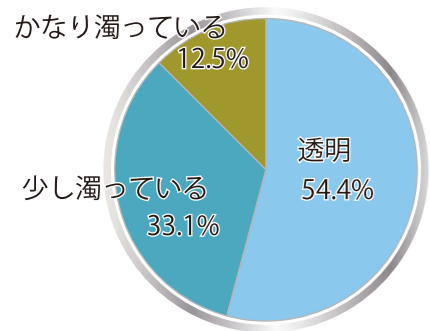
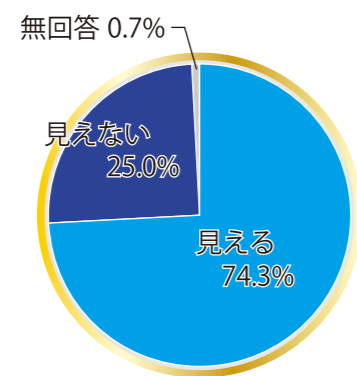


にごりの状況



川の中が見えるか

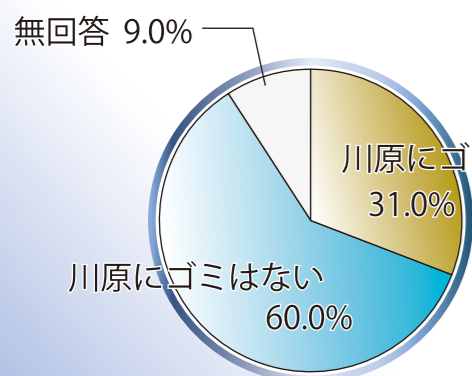


こんな生き物を発見

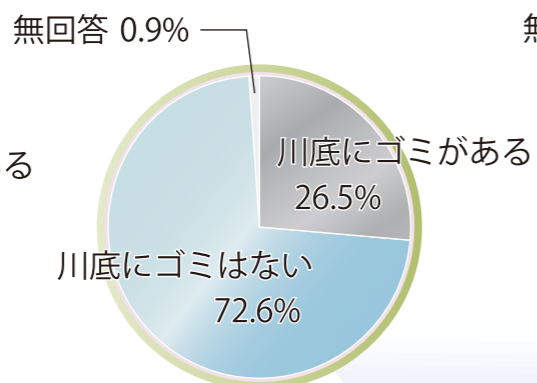
- ◆ 同じ場所でもアラナリアとサリガニ、カワニナとスジエビなどが発見できるので生物指標は良いです。(淀川流域・大正川)
- ◆ 80cmを超えるニゴイやカワムツ(10cm)がいた。(琵琶湖流域・葉山川)
- ◆ 川原の草にハラゲロオオトントウがいた。(桂川流域・桂川)
- ◆ セグロセキセイがいた。(木津川流域・シャックリ川)
- ◆ テトラポットの近くにチヌガ(体長50cm前後)がいた。(淀川流域・神崎川)
- ◆ 黒い鯉と錦鯉(白とオレンジ)の4匹が泳いでいました。30分ほどいましたが、逃げずにいましたよ。(猪名川流域・猪名川)

※調査票の記述をもとに抜粋

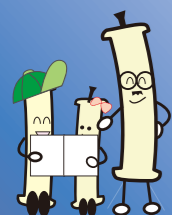
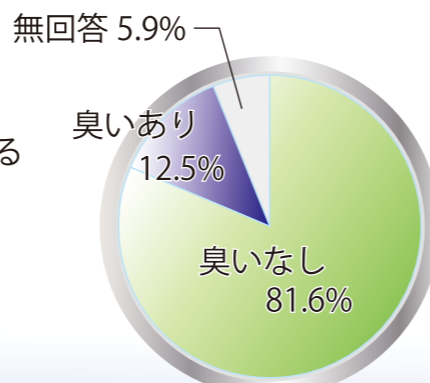
川原にゴミがあるか



川底にゴミがあるか



におい



2022年の調査結果はBYQのホームページでも公開しています。スマートフォン、タブレットをお持ちの方はQRコードを読み込んでください。



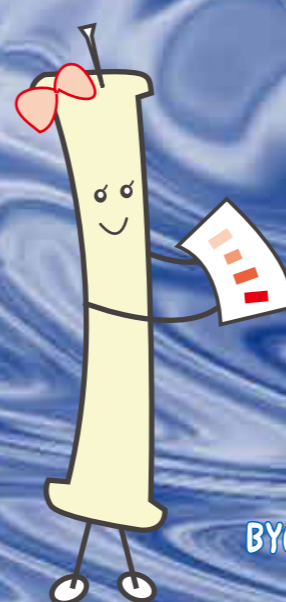
公益財団法人 琵琶湖・淀川水質保全機構 WAQU²(わくわく) 調査隊事務局

〒540-0008 大阪市中央区大手前1丁目2番15号 大手前センタービル4階

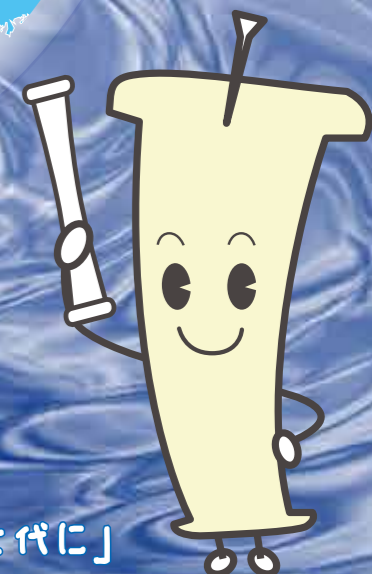
TEL (06)6920-3035 FAX (06)6920-3036



わくわく WAQU² Since 2004 ちょうさたい 調査隊



ちょうさけっか 調査結果



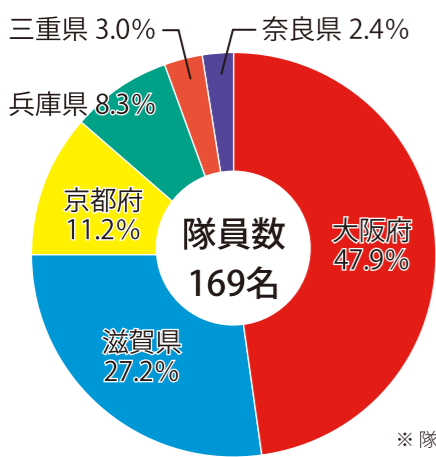
BYQキャッチフレーズ「飲める水 遊べる水辺 次世代に」

公益財団法人琵琶湖・淀川水質保全機構 (BYQ) では、身近な川への関心が薄れてきている中、昔のように川と親しむきっかけをつくることで、水環境を考えなおす時間づくりを目指した WAQU² (わくわく) 調査隊を平成16年(2004年)に結成し、活動を行っています。

調査の概要

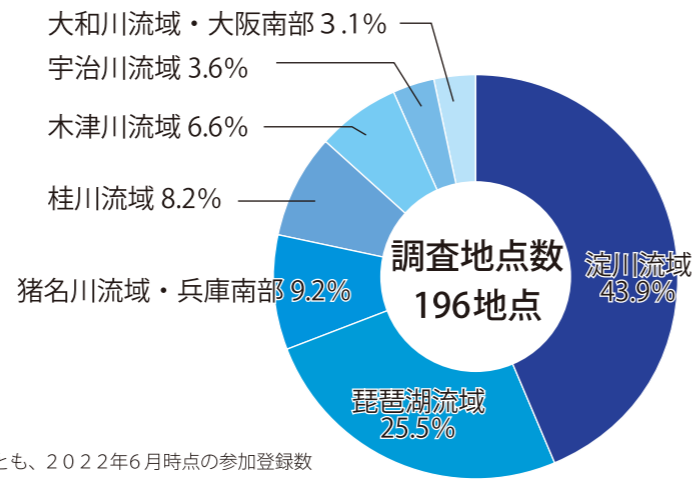
- 調査実施日**
2022年(令和4年)は、6月5日(日)を調査実施日として、調査地域の新型コロナウイルスの感染状況や、天候等の調査条件が悪い場合を考慮して、5月28日(土)から6月30日(木)までの安全に実施できるとされる時期に調査していただきました。
※ この調査結果は、2022年6月30日までに報告のあった調査データを反映しています。
- 調査項目**
COD、川の濁り・臭い、川原の観察、川の水深、水中の川底の観察

調査隊員

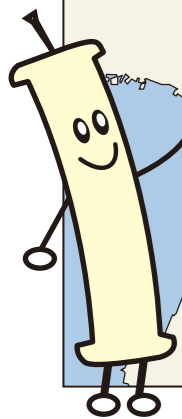


※ 隊員数、調査地点数とも、2022年6月時点の参加登録数
 ※ 隊員数、調査地点の構成比は、小数点以下第2位を四捨五入しています。
 ※ 小数点以下の値により100%にならない場合があります。

調査地点数

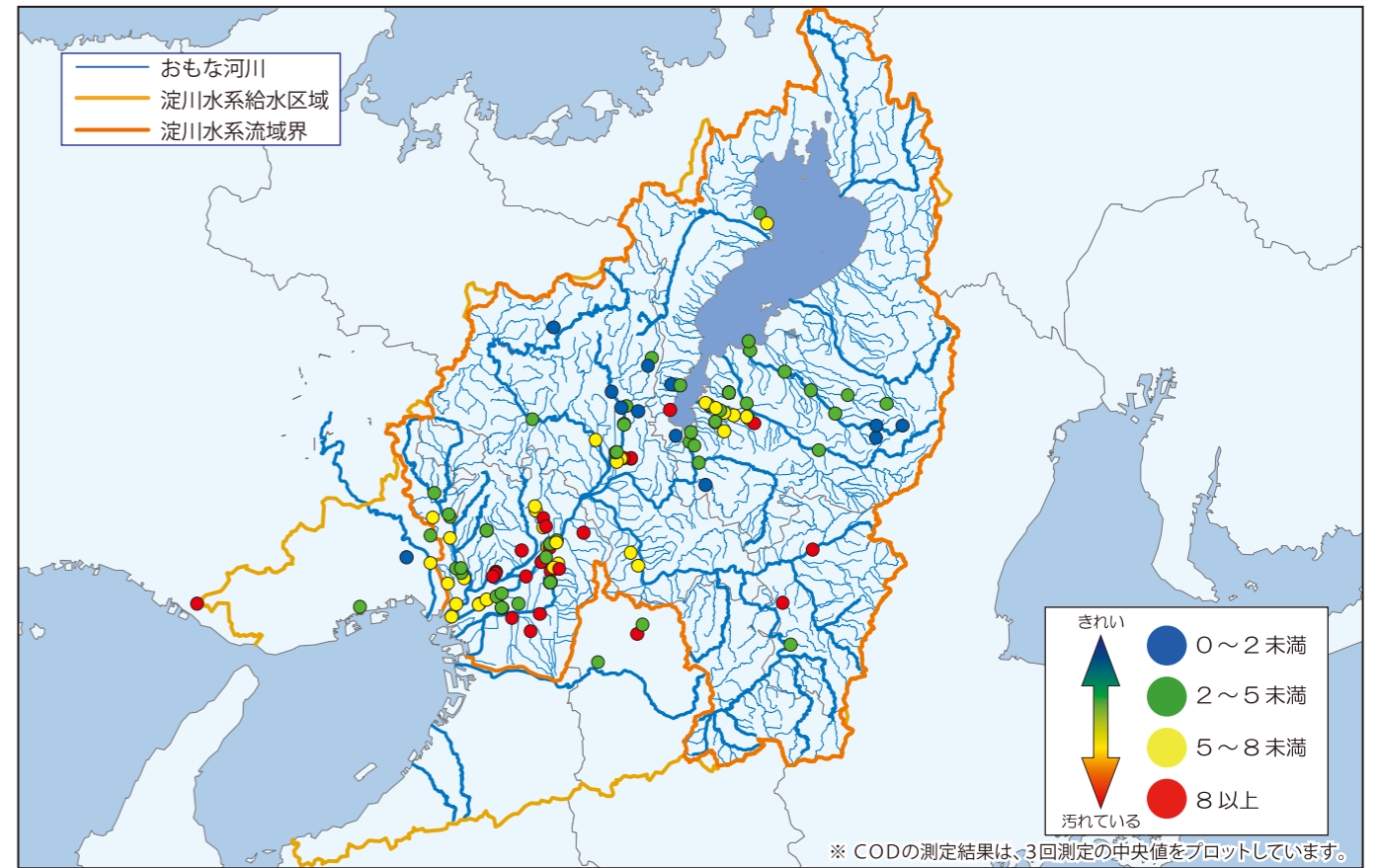


調査地点分布状況



COD (化学的酸素要求量)

水の汚れを示す代表的な指標。強力な酸化剤を加えて水中の有機物を酸化するとき使用(消費)した酸化剤の酸素の量。CODが高いということは、水中に酸素と反応しやすい物質がたくさん入っていると考えられます(河川や湖沼水の場合、すぐ近くに生活排水や汚水が流れ込んでいる可能性があります)。水中の酸素が消費されやすいので、特に流れのない場所では、酸素不足になって魚が棲めなくなってしまいます。自然の浄化作用も低下してしまいます。



水の濁り

